

令和3年1月 斐伊川水系水質情報

令和3年1月(宍道湖:14日・中海:13日採水)					単位:mg/l(Chl-a: µg/l)					
項目	層	S-3(宍道湖湖心)			N-6(中海湖心)			米子湾中央部		
COD	全層	5.5	△	平年並み	3.6	△	平年並み	3.2	△	やや低い
全窒素	上層	0.53	△	平年並み	0.35	○	良好(平年並み)	0.48	△	平年並み
全リン	上層	0.052	△	平年並み	0.028	○	良好(平年並み)	0.032	△	平年並み
Chl-a	上層	30	△	平年並み	12	△	平年並み	7.1	△	平年並み
塩化物イオン	上層	3,900	×	やや高い	13,000	×	やや高い	9,130	△	平年並み
	下層	4,190	×	やや高い	15,200	△	平年並み	11,900	△	平年並み
溶存酸素	上層	13.7		やや高い	12.4		やや高い	12.5		平年並み
	下層	13.4		やや高い	9.9		かなり高い	10.9		平年並み

前月との比較		宍道湖湖心		中海湖心		米子湾中央部	
項目	層	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して
COD	全層	5.0	横ばい	4.5	下降	4.1	やや下降
全窒素	上層	0.42	やや上昇	0.43	やや下降	0.49	横ばい
全リン	上層	0.049	横ばい	0.067	下降	0.057	やや下降

宍道湖の透明度は1.3mから1.2mと横ばい。中海の透明度も2.0mから2.3mとやや上昇。
米子湾の透明度は2.1mから2.4mへやや上昇し、良好となっている。

【評価基準】

前年まで過去10年間(平成19年までは5年間とした)のデータについて統計処理を行い、それに基づき下記の表現とする。

1. 水質値について

↑	★	<非常に高い>
↑	☆	<かなり高い>
↑	×	<やや高い>
↑	△	<平年並み>
↑	○	<良好>
↑	◎	<かなり良好>
↓	○	<やや低い> (塩化物イオン)
↓	◎	<かなり低い> (塩化物イオン)

平均値+標準偏差値の3倍
 平均値+標準偏差値の2倍
 平均値+標準偏差値
 10年間平均値
 平均値-標準偏差値
 平均値-標準偏差値の2倍
 平均値-標準偏差値の3倍

ただし、環境基準値以下の場合<良好>とする。
 ただし、環境基準値を下回らない場合は△で<やや低い>とする。

2. 水質変化について

前月値±標準偏差値以上、以下の変化…… 上昇、下降

前月値±標準偏差値の1/2以上、以下の変化… やや上昇、やや下降、横ばい

前月値±標準偏差値の1/2以内の変化… 横ばい

注) 平均値±標準偏差値 …… 全体のおよそ 68.2%

平均値±標準偏差値の2倍… 全体のおよそ 95.5%

平均値±標準偏差値の3倍… 全体のおよそ 99.7%